

## 第2期

# 下田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 効果検証

(令和6年度戦略評価)

下 田 市  
企 画 課



## 【効果検証の目的】

総合戦略に位置付けた各施策の更なる推進に向けた課題の改善により、より一層高い効果を発揮させることを目的として、効果検証を行う。

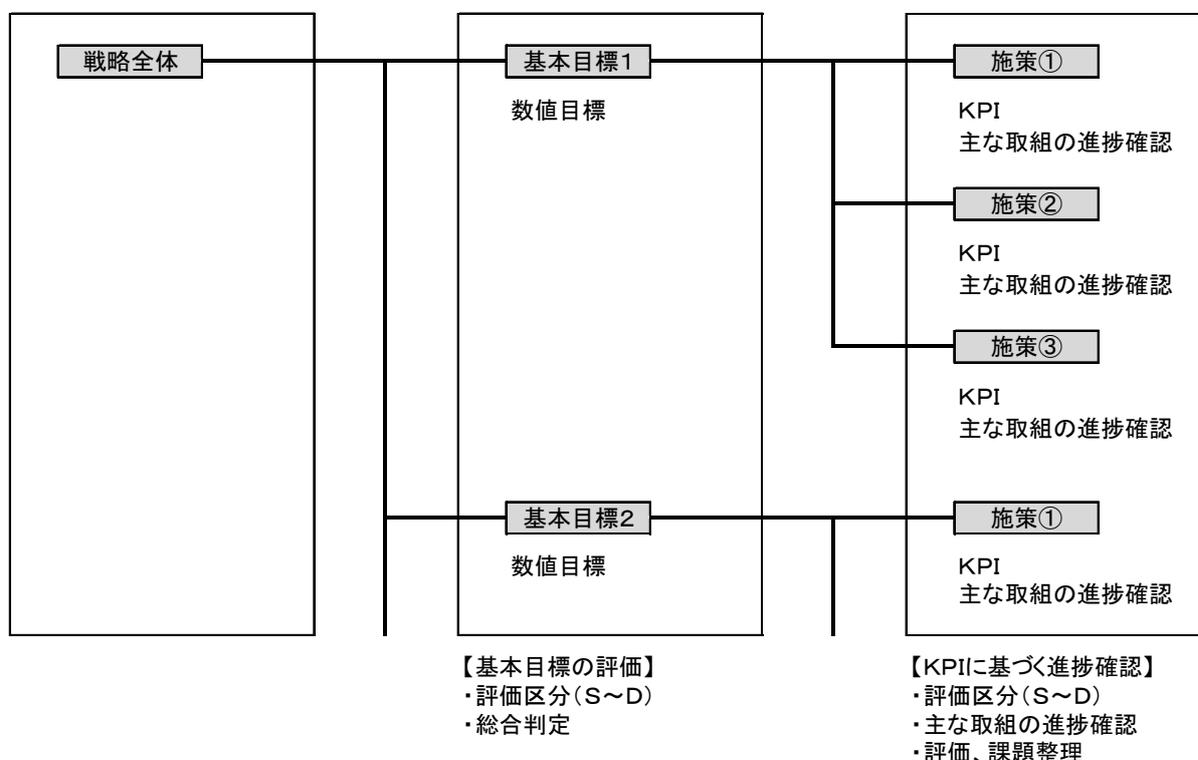
## 【効果検証の仕組み】

総合戦略の進行管理は、毎年の実績報告により政策効果を検証する。検証については、下田市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会による外部評価と各施策の庁内担当課による内部評価の二重構造によるものとする。

## 【効果検証の方法】

総合戦略の効果検証は、基本目標及び各施策の評価、具体的な事業の進捗確認で構成する。なお、検証にあたっては、4つの基本目標毎に設定した「数値目標」及び施策毎に設定した「重要業績成果指標（KPI）」の評価区分を確認するとともに、それらの達成状況等に重点をおいて評価する。

《総合戦略の効果検証（イメージ図）》



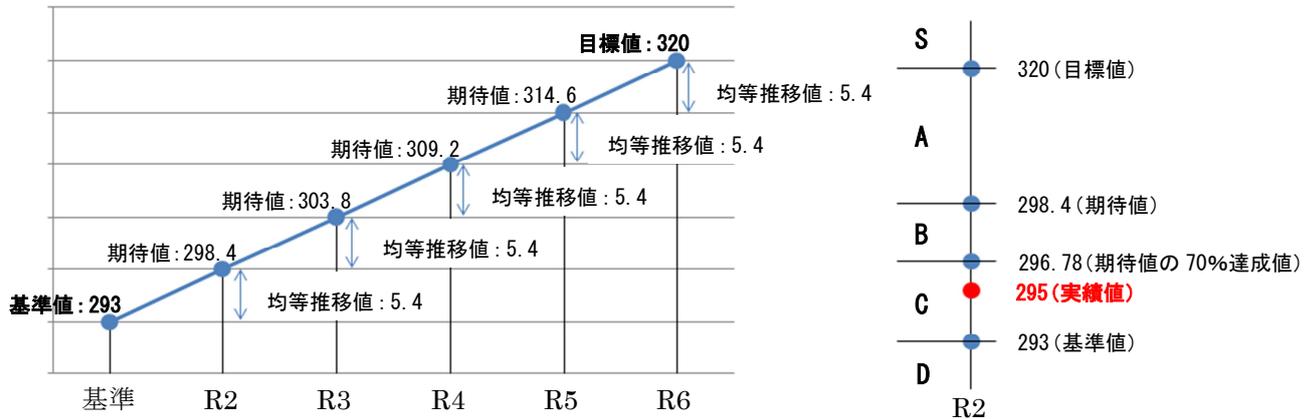
《評価区分について》

区分	判断基準
S	「実績値」が「目標値」以上のもの
A	「実績値」が「目標値」未滿、かつ「期待値」以上のもの
B	「実績値」が「期待値」未滿、かつ「期待値の70%達成値」以上のもの
C	「実績値」が「期待値の70%達成値」未滿、かつ「基準値」超えのもの
D	「実績値」が「基準値」以下のもの

※期待値：計画最終年度（令和6年度）に目標を達成するものとして、基準値から目標値に向けて各年（令和2年度～令和6年度の5か年）均等に推移した場合における各年の数値

期待値の70%達成値：前述にある期待値の70%を達成した場合における数値

《評価区分算出例》



基準値：293人、目標値：320人、実績値：295人

均等推移値：(320人－293人) ÷ 5か年＝5.4人

期待値 (基準値+均等推移値)＝293人+5.4人＝298.4人

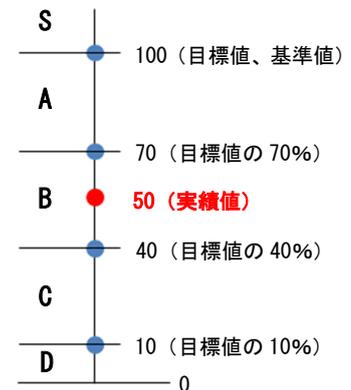
期待値の70%達成値 (基準値+均等推移値×70%)＝293人+5.4人×70%＝296.78人

**評価区分：C**

なお、基本目標3施策②「子育て支援イベント参加者数」、基本目標3施策③「まち遺産出前講座実施数」、基本目標4施策③「防災訓練の実施回数」については、下記の評価区分にて評価。

《目標値（毎年度）における評価区分について》

区分	判断基準
S	「実績値」が「目標値」以上のもの
A	「実績値」が「目標値」未滿、かつ「目標値」の70%以上のもの
B	「実績値」が「目標値」の70%未滿40%以上のもの
C	「実績値」が「目標値」の40%未滿10%超えのもの
D	「実績値」が「目標値」の10%以下のもの



《評価区分算出例》

基準値、目標値：100人、実績値：50人

目標値×70%＝70人、目標値×40%＝40人、目標値×10%＝10人

**評価区分：B**

《総合判定について》

(1) 総合判定の基本的な考え方

数値目標及び施策毎に設定した「重要業績成果指標（KPI）」の評価区分に重点を置き、その他の考慮すべき事項等を勘案して、総合的に判断する。

(2) 総合判定区分

A：順調に進んだ      B：まずまず進んだ      C：少し進んだ      D：進まなかった

# 基本目標 1

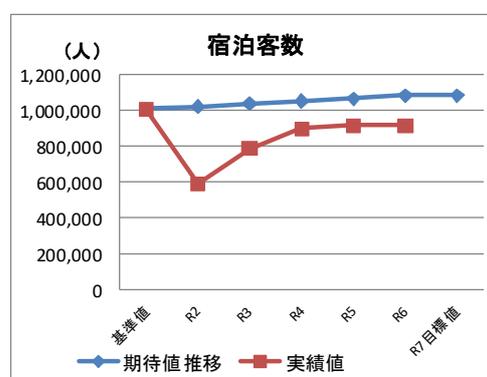
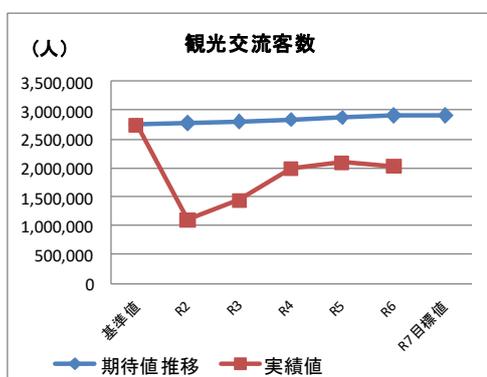
# 下田のプレゼンス向上のための観光づくり

## 1 基本目標

本市の魅力をより効果的に伝えるため、戦略的な観光プロモーションや歴史や自然を活かした下田市の魅力を向上させるまちづくりを推進する。近年増加している外国人のニーズに対応した旅行環境の整備やにぎわいの創出に向けて、新たな人の流れを生み出す環境の整備に取り組む。

## 2 基本目標の達成状況

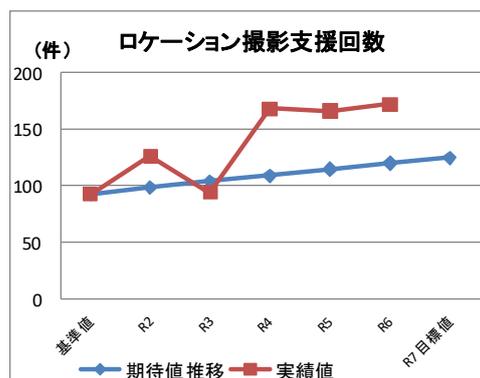
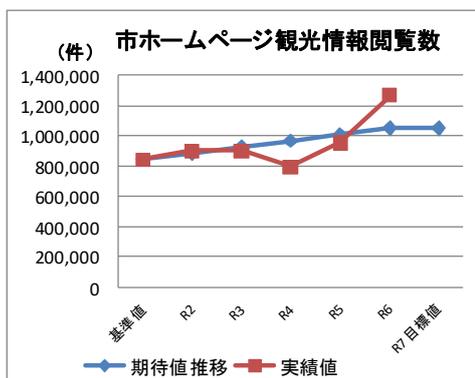
基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
観光交流客数	2,738,342人 (H30)	2,028,794人	D	2,900,000人	2,900,000人
宿泊客数	1,004,110人 (H30)	913,718人	D	1,080,000人	1,080,000人



## 3 KPIの達成状況

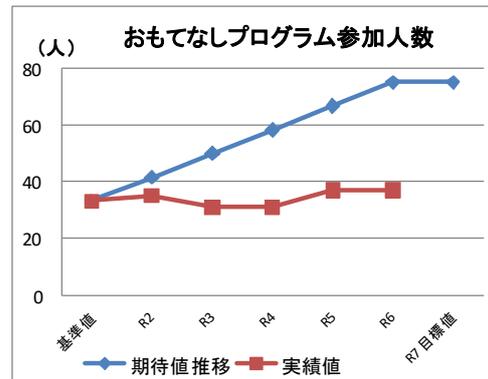
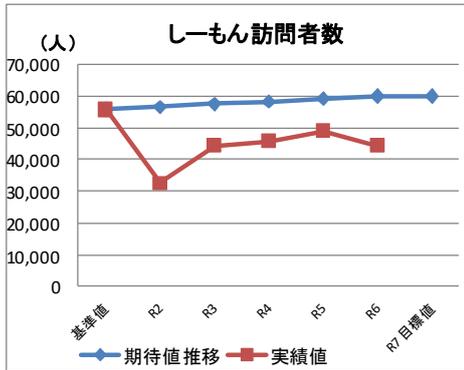
### 施策① 戦略的な観光プロモーションの推進

KPI	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
市ホームページ観光情報閲覧数	841,811件 (H30)	1,265,814件	S	1,051,000件	1,051,000件
ロケーション撮影支援回数	93件 (H30)	172件	S	120件	125件



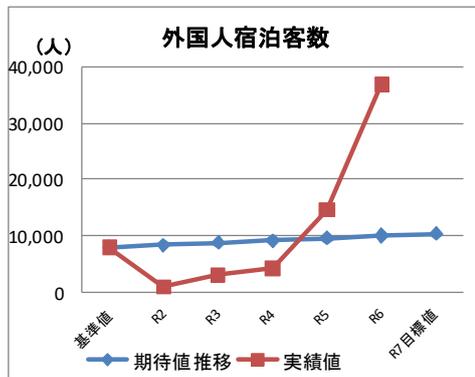
**施策② 地域資源を活かした魅力を向上させるまちづくりの推進**

KPI	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
しーもん訪問者数	55,732人 (H30)	44,495人	D	60,000人	60,000人
おもてなしプログラム参加人数	33人 (H30)	37人	C	75人	75人



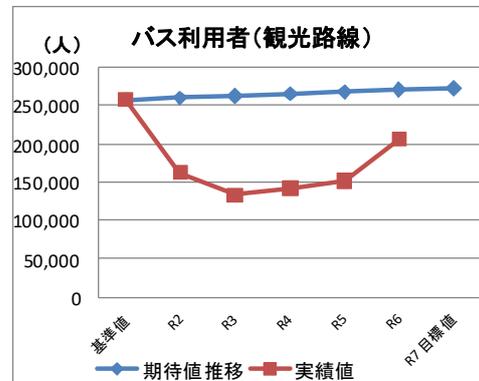
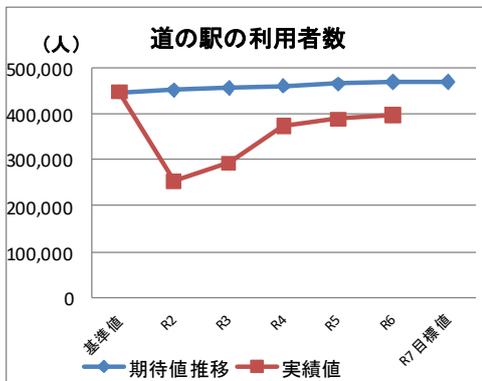
**施策③ インバウンド誘客の推進**

KPI	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
外国人宿泊客数	7,921人 (H30)	36,853人	S	10,000人	10,400人



**施策④ 回遊性を高める交通環境の整備**

KPI	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
道の駅の利用者数	448,044人 (H30)	396,630人	D	470,000人	470,000人
バス利用者(観光路線)	257,389人 (H30)	205,649人	D	270,000人	272,000人



#### 4 主な取組の進捗状況

##### 施策① 戦略的な観光プロモーションの推進

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
観光誘客PRの推進	地域、年代など明確なターゲットを定め、それらに的確なPRを行うとともに、情報技術の進歩に合わせることも踏まえた上、観光情報を効果的に届ける仕組み・体制を強化する。	○	観光交流課	
ロケーション活動支援の充実	映像作品のロケーション撮影の支援、誘致活動を推進し、映画やテレビなどの映像を通して、本市のイメージアップや認知度の向上を図る。	○	観光交流課	
観光DMO組織構築の推進	ビックデータ等を活用したマーケティング、戦略策定等により、効果的な情報発信・プロモーションや地域ブランディングを進めるため、観光DMO機能を有する組織の形成を推進する。		観光交流課	

##### 施策② 地域資源を活かした魅力を向上させるまちづくりの推進

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
世界一の海づくり事業の推進	下田市で行っている事業及び民間事業所で行っている体験サービスなどで連携を図り、通年楽しめる環境を整備し、世界一の海づくりを推進する。	○	観光交流課	
伊豆半島ジオパーク事業の推進	伊豆半島の貴重な地質・自然環境を生かしたまちづくりを推進する。	○	観光交流課	
歴史まちづくりの推進	歴史的建造物とその周辺の良い市街地の環境(歴史的風致)を維持向上し、未来に活かすため、旧町内を中心にまちなみ整備を推進する。	○	建設課	
おもてなし人材育成の推進	民間の観光関係事業者を中心とした下田市民を対象に「下田市の観光」を知ってもらうための研修プログラムを実施する。	○	観光交流課	
観光施設整備の推進	観光地景観エリア計画に基づき、景観と調和のとれた魅力ある観光地の整備を推進する。	○	観光交流課 建設課	

##### 施策③ インバウンド誘客の推進

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
外国人観光客受入体制の強化	案内表示看板の改修やパンフレット多言語化、Wi-Fi環境等の整備を図るほか、商業施設やホテル従業員を対象とした外国人対応の教育など、官民連携した受入体制の強化を図る。	○	観光交流課	
外国人観光客誘客の促進	外国人旅行者向け観光コンテンツの発掘・磨き上げを行うとともに、日本政府観光局等と連携し、本市の魅力を発信することにより誘客を促進する。	○	観光交流課	

##### 施策④ 新たな人の流れを生み出す環境の整備

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
みなとまちゾーンの活性化	みなとまちゾーン活性化協議会等を通じて、みなとまちゾーンの活性化策の検討や事業主体ごとの調整を行い、みなとまちゾーンの活性化を推進する。	○	企画課	
大学連携等による中心市街地活性化	大学との連携により、若者からの意見や提言を受けて、中心市街地のデザイン案を作成し、実現を図ることにより、中心市街地の活性化を推進する。	○	企画課	
二次交通の環境改善	交通結節点における情報案内の充実やAIを活用したオンデマンド交通などの新たな交通サービスの導入を検討し、観光客の利便性、回遊性の向上を図る。	○	建設課	
スポーツ合宿等の誘致	スポーツ施設、宿泊施設等と連携して、市外や県外からのスポーツ合宿等の誘致を推進する。	○	生涯学習課	
伊豆縦貫自動車道の開通に向けた取組の検討	伊豆縦貫自動車道の着実な整備について、引き続き国へ働き掛けるとともに、開通を踏まえた観光振興策の検討を進める。	○	建設課	

## 5 評価・課題・今後の展

### 施策① 戦略的な観光プロモーションの推進

(観光交流課)

#### 【観光交流課】

OTA事業や各種媒体を活用しての観光PR事業を推進するにあたり、ターゲット層や実施時期を絞り込んで実施した。下田ロケーションサービスによるロケ支援を積極的に実施、地域の魅力発信に取り組んだ。令和6年度は計画策定に係り来訪者アンケートを実施。今後も関連団体と連携しながら観光ニーズや行動実態等を把握し、効果的な情報発信等、戦略的な観光プロモーションに取り組んでいきたい。

### 施策② 地域資源を活かした魅力を向上させるまちづくりの推進

(観光交流課、建設課)

#### 【観光交流課】

夏期の海水浴場をはじめ、しーもんによる各種自然体験プログラムの集約化及び発信を実施。また、エコツーリズムモニターツアーの実施など新たな地域資源の活用に向けた検証をスタートさせたほか、美しい伊豆創造センターと連携し、ジオパークの魅力向上及び保全に取り組んだ。

おもてなし人材育成については、外国人従業員の参加なども増加しており、インバウンド対応にも効果が期待できることから、育成メニューのリニューアルを検討していきたい。

今後は、更なる観光資源の磨き上げによる魅力創出とともに、それらを活かした回遊性の向上に取り組んでいきたい。

#### 【建設課】

歴史まちづくりの推進では、歴史的風致建造物1件の修繕に対し助成を行った。

観光施設整備の推進では、蓮台寺温泉エリア、しだれ桃の里まつりへの支援を行った。

### 施策③ インバウンド誘客

(観光交流課)

#### 【観光交流課】

HP等の多言語化、観光案内所に外国語対応スタッフの配置など受入環境整備を進めた。

インバウンド向け観光コンテンツなどの情報発信については、日本政府観光局等との連携や美しい伊豆創造センターへの参画による広域的なインバウンド誘客を継続して実施したが、更なる誘致に向けSNSでの発信やニーズ把握に努め、効果的な情報発信が必要。

### 施策④ 新たな人の流れを生み出す環境の整備

(企画課、建設課、生涯学習課)

#### 【企画課】

Sea級グルメの普及やまどが浜海遊公園でのイベント等実施。みなとまちゾーン活性化協議会・作業部会については計画の改訂と課題等の点検を行うため実施したが、令和6年度中の改訂とはならなかった。上智大や玉川大をはじめ、多くの大学との連携は進めているが中心市街地活性化にはつながっていない。

#### 【建設課】

令和6年度はあじさいまつりの時期に伊豆NAVIを活用したデジタルスタンプラリーを実施した。利用者の傾向等を分析し、観光客の利便性や回遊性の向上を図ってきたい。

いなみん号の運行について、AIデマンドを活用した運行の効率化について検討を行った。引き続き効率化について検討を行ってきたい。

伊豆縦貫自動車道の要望活動を実施するとともに、建設発生土を活用した防災や地域活性化の土地利用について検討を進めた。

#### 【生涯学習課】

スポーツ庁の補助を受け、スポーツ合宿・大会等誘致推進のためのホームページを作成するとともに、スポーツによる地域活性化を目的とした官民連携組織「下田スポーツコミッション」を設立した。

## 5 総合評価

(各施策のKPI評価区分)

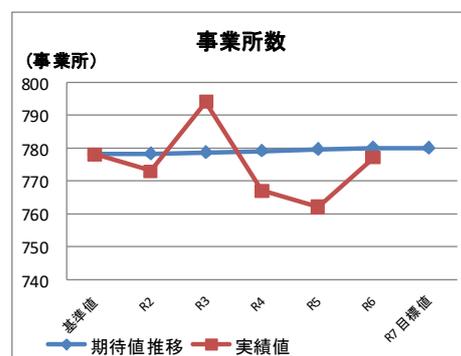
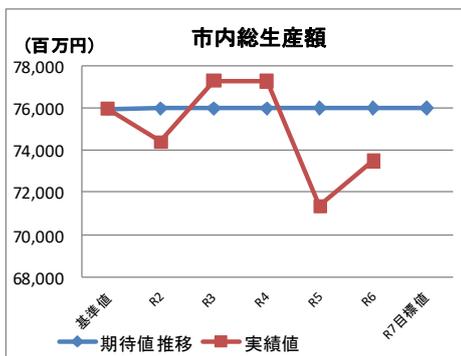
	S	A	B	C	D	合計	総合判定
基本目標	0	0	0	0	2	2	C 施策①③にS判定があり目標値に近づいているが、基本目標を含めD判定が多いことから、総合評価Cとする。
施策①	2	0	0	0	0	2	
施策②	0	0	0	1	1	2	
施策③	1	0	0	0	0	1	
施策④	0	0	0	0	2	2	
合計	3	0	0	1	5	9	

1 基本目標

下田市の基幹産業である観光関連産業を活かした新たなビジネスのための契機づくりや地場産業の振興に取り組むとともに、起業や新規事業への支援など新たな活力を生む雇用創出の支援に取り組む。地域課題の解決に貢献する企業等の受入体制を整備し、関係人口拡大に向けた取り組みを推進する。

2 基本目標の達成状況

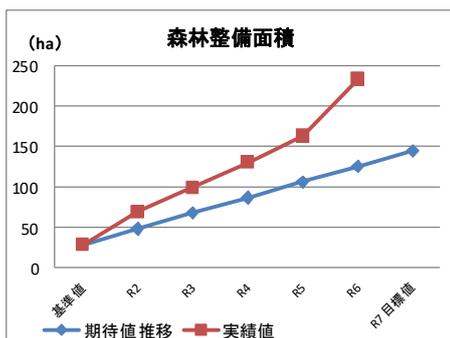
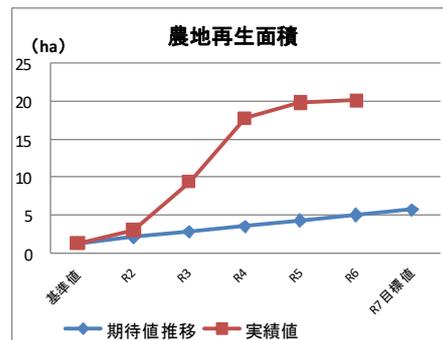
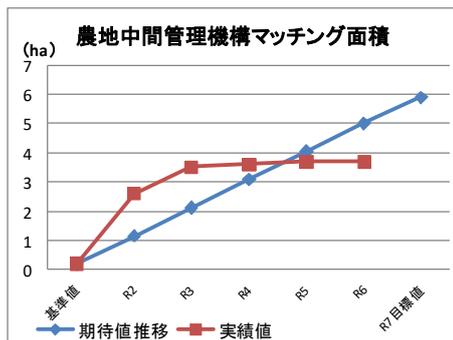
基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
市内総生産額	75,961百万円 (H28)	73,487百万円	D	76,000百万円	76,000百万円
事業所数	778事業所 (H30)	777事業所	D	780事業所	780事業所



3 KPIの達成状況

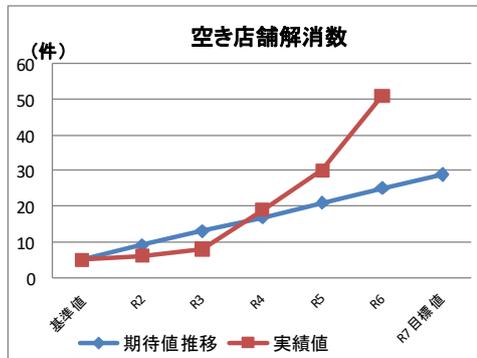
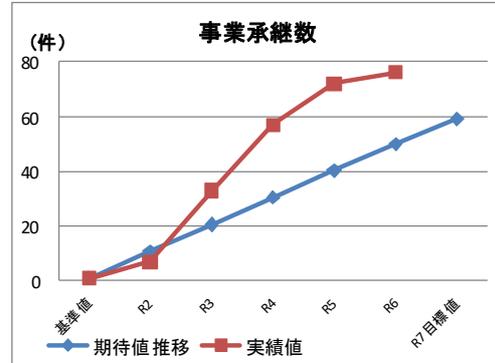
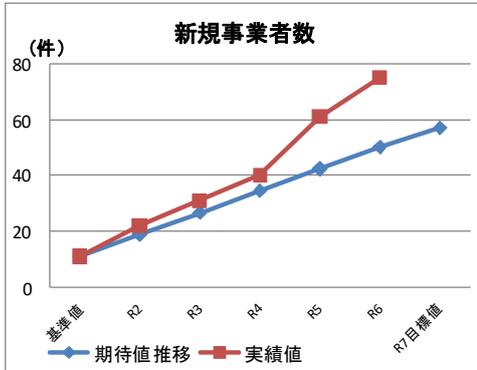
施策① 農林水産業の振興

基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
農地中間管理機構マッチング面積	0.2ha (H30)	3.7ha	A	累計5.0ha	累計5.9ha
農地再生面積	1.3ha (H30)	20.1ha	S	累計5.0ha	累計5.7ha
森林整備面積	28.98ha (H30)	232.78ha	S	累計125ha	累計144ha



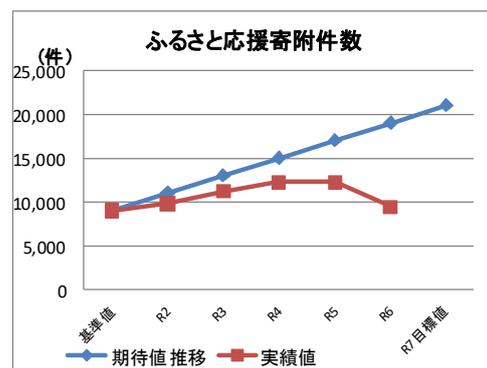
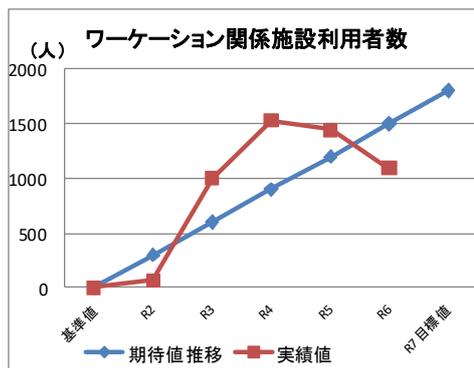
施策② 商工業の振興

基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
新規事業者数	11件 (H30)	75件	S	累計50件	累計57件
事業承継数	1件 (H30)	76件	S	累計50件	累計59件
空き店舗解消数	5件 (H30)	51件	S	累計25件	累計29件



施策③ 関係人口創出・拡大事業の推進

基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
ワーケーション関係施設利用者数	— (H30)	1,094人	A	1,500人	1,800人
ふるさと応援寄附件数	9,000件 (R1)	9,400件	C	19,000件	21,000件



#### 4 主な取組の進捗状況

##### 施策① 農林水産業の振興

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
新規就農者支援の充実	農業次世代人材投資資金等により市内で経営開始する45歳未満の新規就農者を支援する。		産業振興課	
地域農業の振興	農地の利用状況調査等に基づく担い手への集積・集約、新規参入者の取り込みに対して引き続き支援するとともに、オリーブ等の新規作物導入と6次産業化など、新たな農地活用の事業を推進する。	○	産業振興課	
有害鳥獣対策の推進	下田市鳥獣被害防止計画に基づき捕獲、被害防除について引き続き支援していくとともに、ICT機器の活用をはじめとした効率的な捕獲環境整備や担い手の育成等を推進する。	○	産業振興課	
森林環境整備の推進	間伐事業、地域資源活用、里山づくり等の森林環境整備に対して引き続き支援していくとともに、森林に関連する各種体験活動や林業の振興に向けた取り組みを支援する。	○	産業振興課	
水産業の振興	下田港の漁獲水揚げ高の増加による市内経済の活性化を図り、水揚量の拡充を期待するため、外来漁船団の誘致を支援する。また、キンメダイに含まれている成分に着目したヘルスケアの高付加価値による更なるブランド力の強化を推進する。	○	産業振興課	

##### 施策② 商工業の振興

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
地域企業の経営基盤の安定・強化の支援の充実	経済団体や金融機関と連携し、販路開拓、機械整備への投資、新商品開発、労働環境改善、ICT導入などによる生産性向上等を支援することで、地域企業の経営基盤や競争力の強化を推進する。	○	産業振興課	
創業支援の充実	空き店舗等や地域資源を活用した新規創業を促進するため、経済団体や金融機関と連携し、個別相談や各種セミナーの開催、マッチング支援、ワーケーションにより来訪した外部人材の活用等に取り組み、創業意欲のある人材を支援する。	○	産業振興課	
人材マッチングの促進	市内高等学校や県内大学との連携を深め、学生のUターン就職の促進や移住支援金制度の活用を本格化するなど、企業とのマッチングを促進する。	○	産業振興課	
地域ブランディングの推進	地域の優れた素材や技術を活かし、市内外に広く魅力と感ぜてもらえるブランドを確立するため、商工会議所等が実施する分析・調査、商品開発、情報発信等について支援する。	○	産業振興課	

##### 施策③ 関係人口創出・拡大事業の推進

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
ワーケーションの推進	新規ビジネス創出・遊休資産活用促進をはじめとした市内各産業の活性化のため、ワーケーションによる企業・人材の来訪を促すとともに、下田の魅力や課題を知るイベントや地元企業とのビジネスマッチング等を実施し、都市と地域の交流等を推進する。	○	産業振興課	
ふるさと納税返礼品開発の推進	ふるさと納税協力事業所と協力して魅力ある体験型返礼品を開発するとともに、地域の見どころなどの情報もSNS等を通じ全国へ発信し、ファンを増やすことにより、関係人口の増加を図る。	○	企画課	

## 5 評価・課題・今後の展

### 施策① 農林水産業の振興

(産業振興課)

□水産業振興 外来漁船団の誘致を支援するため、補助金を交付した。キンメダイ高付加価値については、漁協が消費者庁に申請協議中。  
 □農業振興 新規就農者の獲得には至らず、前年度まで実施していたオリーブ等の新規作物導入事業は休止状態となったが、農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画を策定し、耕作放棄地解消のために農地の集積と集約を推進した。  
 □有害鳥獣対策 鳥獣被害防止計画に基づき捕獲・駆除を行ったほか、鳥獣捕獲通知システムを利用するなどICT機器を活用して事業の効率化を図った。  
 □林業振興 国県補助のほか、みどりの基金及び森林環境整備促進基金を活用し、市と林業事業者で間伐事業を実施した。

### 施策② 商工業の振興

(産業振興課)

地域企業の経営基盤の安定・強化の支援として競争力強化販路拡大事業を実施し、商品の磨き上げや販路の開拓を行った。また、空き店舗等活用事業補助金の交付や次世代経営者育成プログラムの実施等により市内事業者が新規事業に取り組むに当たっての環境を整備した。今後も市内事業者が新規事業や既存事業の革新が出来るよう関係機関と連携しサポートをしていく。

### 施策③ 関係人口創出・拡大事業の推進

(産業振興課、企画課)

#### 【産業振興課】

市内ワークスポットの利用が増加が引き続き増加していることから、テレワーカーの来訪やデジタルノマドの誘致等、関係機関等と連携し進めていく。

#### 【企画課】

下田市観光協会と協力し旅行サイトからふるさと納税の情報発信を行った。その他、納税件数増加に向けた取組みは進めているが、件数は達成目標に対して半数となった。

## 5 総合評価

(各施策のKPI評価区分)

	S	A	B	C	D	合計
基本目標	0	0	0	0	2	2
施策①	2	1	0	0	0	3
施策②	3	0	0	0	0	3
施策③	0	1	0	1	0	2
合計	5	2	0	1	2	10

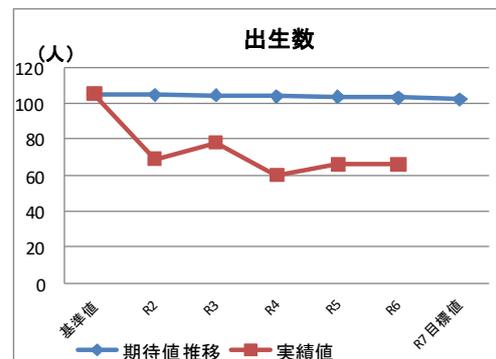
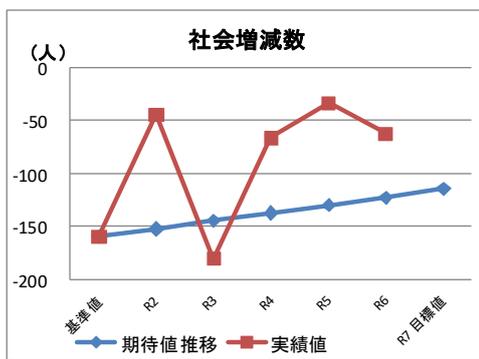
総合判定
B
基本目標の達成状況はD判定であり、全体としてS判定は多いが、低評価もあるため、総合判定はBとする。

1 基本目標

下田市に興味や愛着持つ人を増やし、UJターン対策など定住促進につなげる支援により人口の社会減を抑制する。また、子どもを増やし自然減を抑制するため、安心して子育てができるよう切れ目のない子育て支援サービスの充実や、子どもが下田市に愛着を持てるよう、郷土愛を育む教育の充実に取り組む。

2 基本目標の達成状況

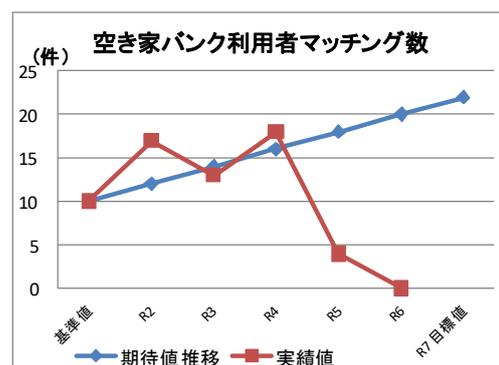
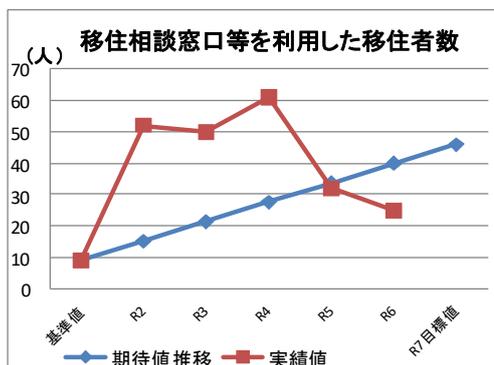
基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
社会増減数	-160人 (H30)	-63人	S	-123人	-115人
出生数	105人 (H30)	66人	D	103人	102人



3 KPIの達成状況

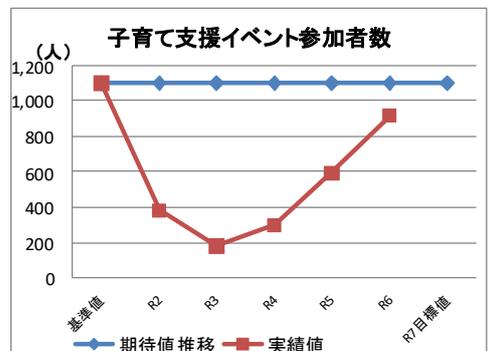
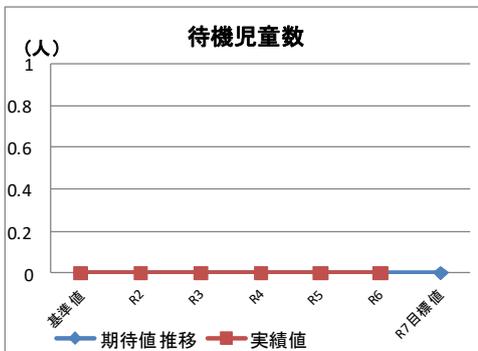
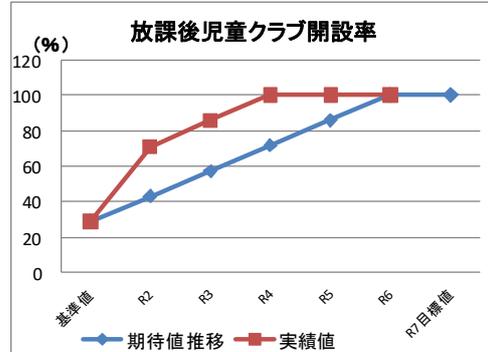
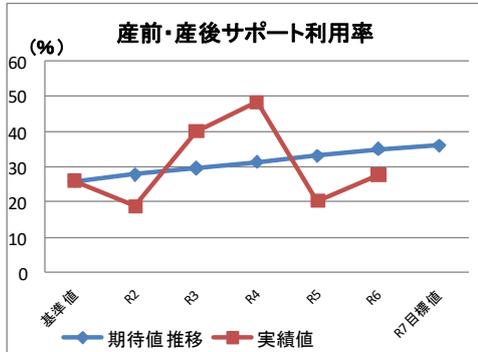
施策① 移住促進につなげる支援の展開

基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
移住相談窓口等を利用した移住者数	9人 (H30)	25人	A	40人	46人
空き家バンク利用者マッチング数	10件 (R1)	0件	D	20件	22件



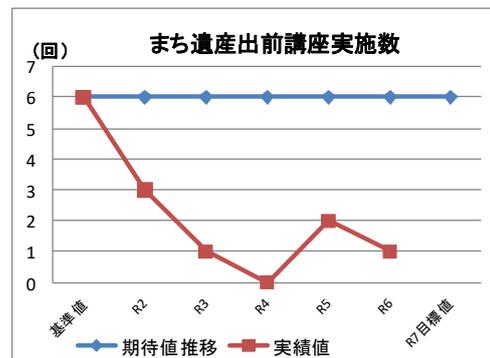
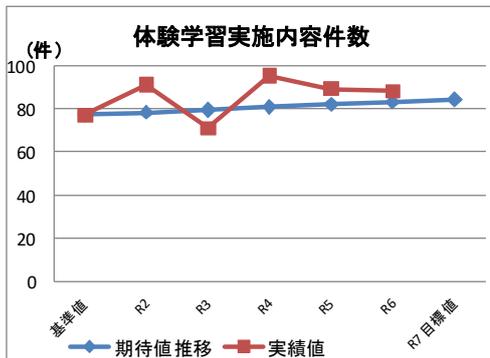
施策② 切れ目のない子育て支援サービスの充実

基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
産前・産後サポート利用率	26% (H30)	27.7%	A	35%	36%
放課後児童クラブ開設率	29% (H30)	100%	S	100%	100%
待機児童数	0人 (H30)	0人	S	0人	0人
子育て支援イベント参加者数	1,100人 (H30)	916人	A	1,100人(毎年度)	1,100人(毎年度)



施策③ 魅力ある教育環境の整備

基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
体験学習実施内容件数	77件 (H30)	88件	S	83件	84件
まち遺産出前講座実施数	6回 (R1)	1回	C	6回(毎年度)	6回(毎年度)



#### 4 主な取組の進捗状況

##### 施策① 移住促進につなげる支援の展開

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
移住に関する情報発信の強化	移住イベントやホームページ、SNS等を活用し、移住希望者へ必要な情報が届くように効果的な情報発信に取り組む。	○	産業振興課	
移住支援の充実	移住を目的とした滞在の支援や移住サポーターによる相談、市民と移住希望者が交流の場の創出など移住支援の充実を図る。	○	産業振興課	
空き家利活用の促進	空き家所有者への制度周知を図るとともに、広く空き家情報を発信することで、利活用を促進する。		産業振興課	

##### 施策② 切れ目のない子育て支援サービスの充実

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
妊娠、出産への支援	妊娠や出産に関する不安を軽減するための相談支援や産後の母子の健康管理、産後ケアなど、安心して子どもを産み育てられる環境を整備する。	○	市民保健課	
子育て支援サービスの充実	地域子育て支援センター事業やファミリーサポートセンター事業、病児保育事業等による子育て支援を実施するほか、子育てアプリ「しもだこどもDiary」やSNSを活用した子育て情報の発信に努める。	○	学校教育課 福祉事務所	
放課後児童クラブ等の充実	全小学校での放課後児童クラブの設置を進めるとともに、指導員の確保・育成を進め、民間委託等も含め、事業内容及び環境の充実を図る。	○	学校教育課	
地域で支える子育て支援の推進	多様な世代が集まることができるイベントの開催や拠点整備など、地域全体で子育てを支援する環境づくりを進めるとともに、地位における子育てを支える活動に携わるボランティア等の育成について検討する。	○	福祉事務所	
男性の育児参加の啓発	男性が積極的に子育てにかかわり、対応な立場でもともに子育てに参加するよう啓発に努める。また、事業所等を対象に男性の育児休暇の取得推進について啓発を行い、子育てしやすい環境づくりを推進する。	○	福祉事務所	

##### 施策③ 魅力ある教育環境の整備

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
郷土学習の充実	自然や歴史、文化を踏まえた体験プログラムやまち遺産出前講座については、引き続き支援及び実施していくとともに、未来の下田創造プロジェクトに伴う新たな教育プログラムを構築し、推進する。	○	学校教育課 建設課	
外国語教育の充実	外国語指導助手等を全校に配置し、外国語教育の充実を図る。また、玉川大学との英語教育連携や黒船祭における米海軍との交流等、開国の地を活かした外国語教育を推進する。	○	学校教育課	
情報教育の充実	ICT機器の計画的な整備に努めるとともに、プログラミング教育等、情報活用能力の育成を推進する。	○	学校教育課	
学校給食地産地消の推進	ふるさと給食週間や地産地消週間について、引き続き下田(伊豆・静岡)の特産物を使った給食を提供していくとともに、給食だより等を活用して下田の特産物を紹介し、地産地消を推進する。	○	学校教育課	

## 5 評価・課題・今後の展

### 施策① 移住促進につながる支援の展開

(産業振興課)

移住相談件数は増加傾向にある者の移住者数は減少をしている。移住コーディネーター、移住定住サポーター、関係期間等と連携をはかり相談から移住まできめ細かいサポート出来る体制を再度整えて移住者の増加を図っていく。また、令和6年度空き家バンクは休止したが、令和7年度当初からの再開に向け整備を行った。

### 施策② 切れ目のない子育て支援サービスの充実

(市民保健課、福祉事務所、学校教育課)

#### 【市民保健課】

令和6年10月に市内唯一の分娩取扱医療機関が分娩を翌年1月で終了と発表したことから、妊婦健診時、分娩時の交通費支援、救急搬送を想定した消防機関への事前登録制度創設など、安全安心な出産ができるよう支援した。また、直近の産科医療機関3か所とも連携を図り調整することで妊婦の負担を軽減することができた。また、保健師、助産師が窓口となり、産前、産後の相談に応じ、切れ目のない支援を行うことができた。

#### 【福祉事務所】

子育て支援ネットワークにおいてイベントの内容を工夫し来場者数の増加につなげるとともに、地域の高齢者に参画してもらい他世代交流の場ともなった。また、先進地への視察を実施し次年度の実施計画検討に役立てた。男性の育児参加の推進が課題となっている。

#### 【学校教育課】

生後7か月から小学生までの切れ目のない保育サービスを実施している。また、在宅での保育や病時などの緊急な預かりに対応するサービスを実施し、仕事と子育ての両立、育児中の孤立の防止としての役割を担っている。

### 施策③ 魅力ある教育環境の整備

(学校教育課、建設課)

#### 【学校教育課】

「郷土学習の充実」においては令和6年度にコミュニティスクールを全小中学校に配置し、地域との連携を強化している。「情報教育の充実」については、ICT教育機材等の更新を計画的に進めており、令和6年度には電子黒板の入替に着手した(令和6～8年度で実施予定)。外国語教育についても、外国語指導助手の配置、玉川大学との英語教育連携、黒船祭での米海軍との交流事業、英検の受検補助等、複数の取組を実施している。

#### 【建設課】

市内小中学校の教員を対象とした歴史施設の社会科見学を実施し、普及啓発活動を行った。

## 5 総合評価

(各施策のKPI評価区分)

	S	A	B	C	D	合計
基本目標	1	0	0	0	1	2
施策①	0	1	0	0	1	2
施策②	2	2	0	0	0	4
施策③	1	0	0	1	0	2
合計	4	3	0	1	2	10

総合判定
A
基本目標はD判定も含まれており評価が低いところもあるが、全体的にS判定がおいことから、総合評価Aとする。

1 基本目標

人口が減少しても誰もが快適で安全な生活を営むことができるよう、互いに支え合う仕組みの充実や健康長寿のまちづくりを推進するとともに、災害時の対応に備えて、持続的な生活を支えるための安全・安心の基盤強化に取り組む。  
 持続可能な地域社会の創造に向け、行政運営の効率化や広域連携の強化を図る。

2 基本目標の達成状況

基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
地域カストック指標	1.52 (H30)	-	-	1.55	1.55

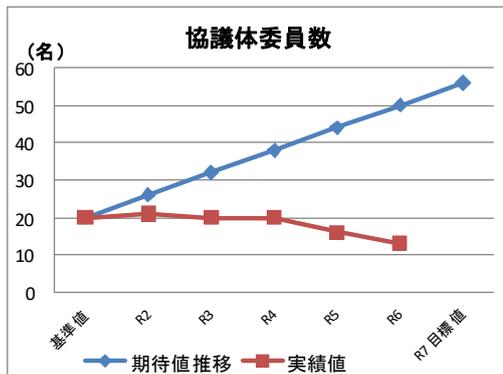
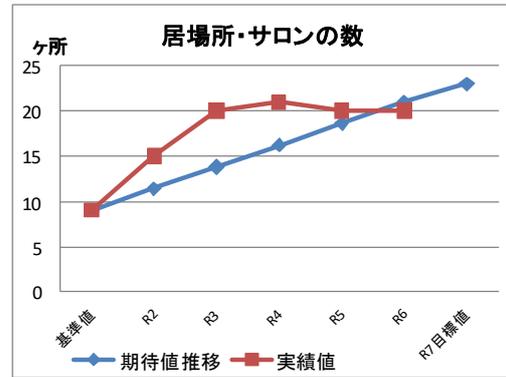
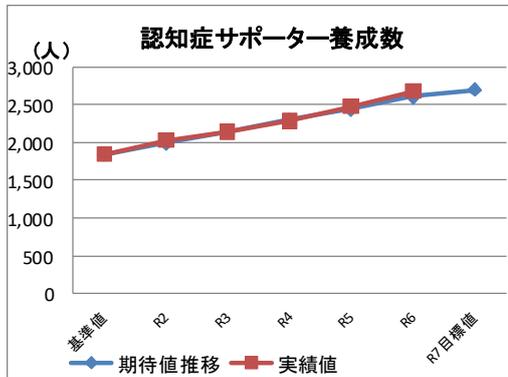
※地域カストック指標については、公益法人中部圏社会経済研究所が国勢調査の情報をもとに示すもので、今年度も引き続き、地域特性等の要素も含めた指標とし算出している状況だが、2020年以降、公表されていない。

※基準値(H30)においては、地域特性等の要素を含めていないもののため、今後、基本目標の見直しの検討が必要。

3 KPIの達成状況

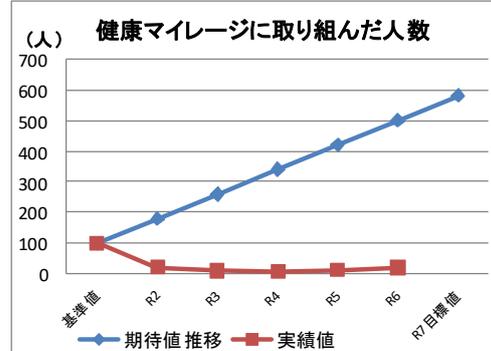
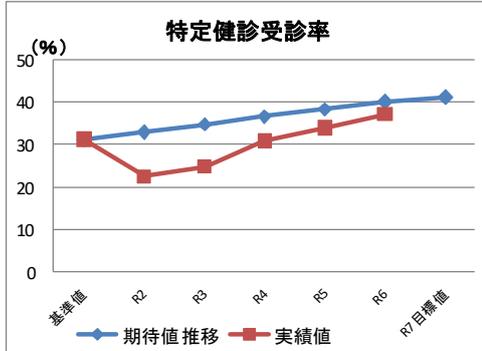
施策① 持続可能なまちづくりの推進

基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
認知症サポーター養成数	1,841人 (H30末累計)	2,675人	S	2,600人(累計)	2,700人
居場所・サロンの数	9か所 (H30)	20か所	A	21か所	23か所
協議体委員数	20名 (H30)	13名	D	50名	56名



施策② 健康づくり・介護予防の推進

基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
特定健診受診率	31.1% (H30)	37.1%	A	40%	41%
お達者度(男性)	R1公表 16.96 (H28)	—	—	18.24	18.49%
お達者度(女性)	R1公表 20.24 (H28)	—	—	21.2	21.39%
健康マイレージに取り組んだ人数	100人 (R1)	20人	D	500人	580人



◎「お達者度(※注1)」は、主に静岡県が用いる指標として、高齢者の元気度や地域的な健康寿命を評価する指標として活用されてきましたが、令和6年度より「お達者年齢(※注2)」へ名称及び基準が変更された。今後、基本目標の見直しが必要であり、次期総合戦略には「お達者年齢」に変更する予定。

※注1「お達者度」:平成24年度(平成21年度お達者度)～

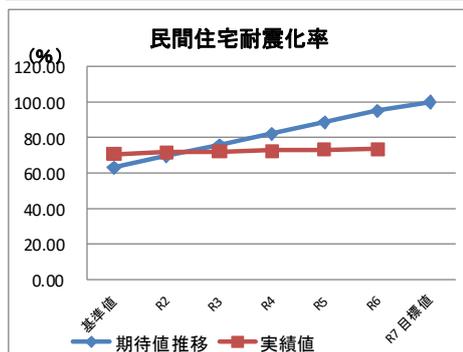
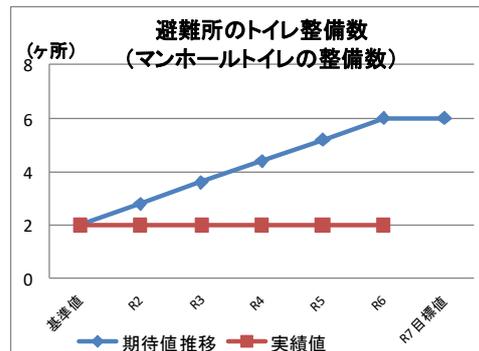
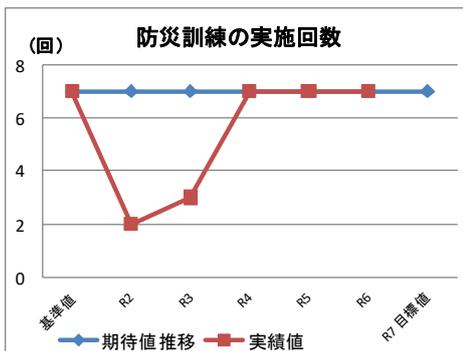
全国に先駆けて市町村別健康寿命として、「お達者度(65歳起点)」を算出し静岡県が公表。

※注2「お達者年齢」:令和6年度(令和3・4年お達者年齢)～

市町単位の平均自立期間(0歳起点)の公表が開始。平均自立期間をとりまとめて「お達者年齢」として静岡県が公表。

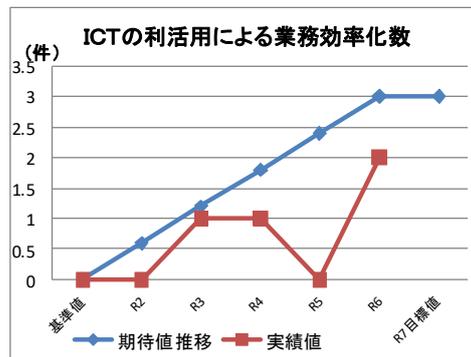
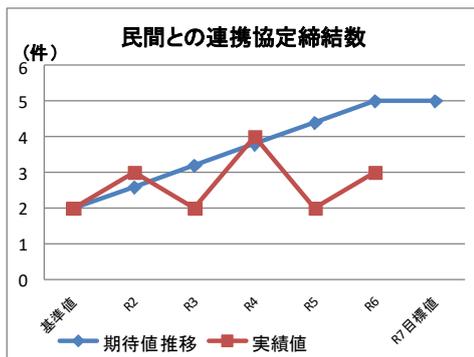
施策③ 安全・安心の基盤強化

基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
防災訓練の実施回数	7回 (H30)	7回	S	7回(毎年度)	7回(毎年度)
避難所のトイレ整備数 (マンホールトイレの整備数)	2か所 (H30)	2か所	D	6か所	6か所
民間住宅耐震化率	63.1% (H30)	73.50%	A	95.00%	100.00%



施策④ 行政運営の効率化と連携の推進

基本目標	基準値	実績値(R6実績)	評価区分	R6目標値	R7目標値
民間との連携協定締結数	2件 (R1)	3件	A	5件	5件
ICTの利活用による 業務効率化数	—	2件	A	3件	3件



#### 4 主な取組の進捗状況

##### 施策① 持続可能なまちづくりの推進

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
地域活動の支援	居場所やサロン活動を支援し、それぞれの地域や人にあった居場所づくりを推進する。	○	福祉事務所 市民保健課	
担い手の育成	地域活動やボランティアなどの活動に参加し、地域の担い手として活動することを支援する。また、参加者から活動を発展するためのリーダーの育成も支援する。	○	福祉事務所 市民保健課	
相談・支え合い活動の支援	困りごとを抱える人が孤立しないよう、周囲の見守りを通じ、関係機関までつながるネットワークを構築し、相談支援ができるよう体制を整備する。	○	福祉事務所 市民保健課	
移動手段の維持・確保	地域需要や運行の効率性を踏まえ、地域内交通の再構築に取り組むとともに、自家用有償旅客運送など、地域特性に合わせた交通モードについて検討する。	○	建設課 福祉事務所 市民保健課	

##### 施策② 健康づくり・介護予防の推進

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
特定健診及び特定保健指導の受信勧奨強化	特定健診受診料の軽減や前立腺がん検診の導入など、受診勧奨の強化及び特定保健指導の充実により、生活習慣病の発症予防、早期発見及び重症化予防を推進する。	○	市民保健課	
健康づくり・介護予防の強化	健康イベントや介護予防教室の開催、健康マイレージの普及など、健康づくり・介護予防に関する意識と運動習慣の醸成に向けた取り組みを推進する。	○	市民保健課	

##### 施策③ 安全・安心の基盤強化

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
地域防災力向上の推進	自主防災組織の育成、災害ボランティア等関係団体との連携強化及び災害に対する知識の普及や防災訓練などを行うことで、地域の防災力を向上する仕組みを構築する。	○	防災安全課	
防災資機材等整備の充実	投光機や防災テントなど、災害時に必要となる資機材及び食料や毛布などの備蓄品の整備を行う。	○	防災安全課	
避難所環境整備の充実	非常用トイレや耐震性貯水槽などの整備を行い、避難所環境の向上を図る。	○	防災安全課	
民間住宅耐震化率向上に向けた取組の強化	地震等における木造建築物の倒壊を防ぎ、人命の安全確保のため、広報活動や助成により耐震性の向上を図る。	○	建設課	
地域医療体制の強化	拠点病院と地域医療機関との連携を強化し、身近な地域で安心して医療が受けられる環境を整備するとともに、救急医療体制の充実に努める。	○	市民保健課	

##### 施策④ 行政運営の効率化と連携の推進

取組	概要	実施の有無	担当課	備考
革新的技術の利活用による効率的な行政運営の推進	IoTやAI等の革新的技術を効果的に利活用し、効率的な行政運営を推進する。	○	総務課	
広域連携事業の推進	賀茂地域広域連携会議等を通じて、市町との施策連携や事務の共同処理等の取り組みを進め、効果的・効率的な市民サービスの提供を図る。	○	企画課	
市有資産の最適化の推進	ファシリティマネジメントによる市有施設の総量適正化を図るとともに、遊休公有財産の有効活用を推進する。	○	財務課	
民間との協働による市民サービスの向上	包括連携協定の締結等により民間企業やNPOとの協働を一層強化し、地域の課題解決に向けた取り組みを推進する。	○	企画課 産業振興課	

## 5 評価・課題・今後の展開

### 施策① 持続可能なまちづくりの推進

(福祉事務所、市民保健課、建設課)

#### 【福祉事務所】

担い手の育成:手話奉仕員養成講座を下田市社会福祉協議会への委託にて実施し、賀茂地域から18名の参加があった。

相談・支え合い活動の支援:庁内関係者が連携し、重層的支援体制の整備に向けた検討を実施した。

移動手段の維持・確保:障害者等の移動手段の維持確保のため、福祉有償運送運営協議会の委員の委嘱をした。

地域福祉の推進:下田市社会福祉協議会と連携し推進した。また、民生委員については令和6年度末で11人の欠員があり、共助・公助の必要性が高まる中で課題となっている。

#### 【市民保健課】

「生活支援・介護予防協議体」において、①生きがいづくり、②居場所活動、③生活支援サービス、④見守り活動において、重点的に①、②、④の課題抽出や取り組みの確認を実施した。今後、令和6年度の実施を継続するとともに、生活支援サービスについての課題抽出や取り組みの確認を行う必要がある。

#### 【建設課】

令和6年度は河内庁舎へ来庁された市民を対象に来庁方法に関するアンケートを実施した。

今後はこのアンケート結果をもとに利便性の高い地域づくりに向けた検討を行っていききたい。

### 施策② 健康づくり・介護予防の推進

(市民保健課)

特定健診受診率において医療機関の協力を得て行う「みなし健診」受診者が増加したため受診率が向上した。

特定保健指導対象者に保健指導を実施し、生活習慣の改善を図った。健康マイレージの普及に取り組んだが、申請者が20人と少なかった。

### 施策③ 安全・安心の基盤強化

(防災安全課、建設課、市民保健課)

#### 【防災安全課】

地域団体や学校等に対して防災講座を継続して実施するとともに、市民の防災意識向上を目的とした講演会を開催した。

総合防災訓練は台風の影響により一部地域のみとなったが予定していた訓練を実施し、また令和5年度に続き遺体収容所運営訓練を実施した。その他新たに職員に向けた復旧復興体制訓練を実施した。

備蓄食料の入れ替えと、避難所の環境改善のため災害用トイレ12基、災害用テント48張を購入した。

#### 【建設課】

令和6年度は、戸別訪問165件、住宅耐震診断80件、耐震改修工事補助4件を行った。

令和6年度末より精密診断等に対する上乗せ補助を行った。

県主催の達人塾開催に協力し、安価な工法の周知を図った。

#### 【市民保健課】

1次救急、2次救急医療に対して助成を行い、救急医療体制の維持を図った。小児救急医療は月1回のみ、回数を増加することができなかった。

### 施策④ 行政運営の効率化と連携の推進

(総務課、企画課、財務課)

【総務課】下田市公式LINEアカウントを導入し、税関係証明について電子申請対応を可能とした。併せて、グループウェアも更新し、職員全体の業務効率向上を図った。

今後は、庁舎移転に合わせ、業務環境の改善を引き続き検討していく(庁内LGWAN環境の無線化等)。

【企画課】包括連携協定は令和6年度目標3件を締結。今後も民間スキルを活かした行政運営は必要なことから継続していく。広域連携は引き続き静岡県と協力して進めていく。

【財務課】公共施設マネジメントシステムの情報入力を実施した。

遊休公有財産の有効活用に向けた取組として、公有財産有効活用検討委員会において各施設の課題の整理を行うとともに、活用の検討や売却可能資産の検討を行った。16件の検討施設のうち、4件の方向性を定めた。

【総務課】下田市公式LINEアカウントを導入し、税関係証明について電子申請対応を可能とした。併せて、グループウェアも更新し、職員全体の業務効率向上を図った。

今後は、庁舎移転に合わせ、業務環境の改善を引き続き検討していく(庁内LGWAN環境の無線化等)。

【産業振興課】NPO法人と連携を図り移住相談に取り組んだ。

**6 総合評価**  
(各施策のKPI評価区分)

	S	A	B	C	D	合計
基本目標	0	0	0	0	0	0
施策①	1	1	0	0	1	3
施策②	0	1	0	0	1	2
施策③	1	1	0	0	1	3
施策④	0	2	0	0	0	2
<b>合計</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>10</b>

総合判定
A
D判定があるものの、全体的にA判定が多いため、総合評価はAとする。